

四半期報告書

(第88期第3四半期)

自 平成30年4月1日

至 平成30年6月30日

株式会社ニックス

目 次

頁

【表紙】	
第一部 【企業情報】	1
第1 【企業の概況】	1
1 【主要な経営指標等の推移】	1
2 【事業の内容】	1
第2 【事業の状況】	2
1 【事業等のリスク】	2
2 【経営上の重要な契約等】	2
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	2
第3 【提出会社の状況】	3
1 【株式等の状況】	3
2 【役員の状況】	4
第4 【経理の状況】	5
1 【四半期連結財務諸表】	6
2 【その他】	11
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	12

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年8月9日
【四半期会計期間】	第88期第3四半期（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
【会社名】	株式会社 ニックス
【英訳名】	NIX, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青木 一英
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号
【電話番号】	045-221-2001（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役兼グローバル管理本部長 先本 孝志
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号
【電話番号】	045-221-2001（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役兼グローバル管理本部長 先本 孝志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第3四半期 連結累計期間	第88期 第3四半期 連結累計期間	第87期
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日	自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日	自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日
売上高 (千円)	3,294,208	3,255,543	4,433,745
経常利益 (千円)	295,390	176,609	392,071
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	227,020	128,378	292,209
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	263,158	120,632	332,522
純資産額 (千円)	3,119,493	3,253,742	3,188,858
総資産額 (千円)	5,287,015	5,218,850	5,288,829
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	97.73	55.27	125.80
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	59.0	62.3	60.3

回次	第87期 第3四半期 連結会計期間	第88期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	18.22	20.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産活動、設備投資の持ち直しが景気を後押しし、緩やかに回復しております。しかしながら、中国やアジア新興国の経済成長の鈍化、米国政府の政策展開に対する貿易摩擦への不安材料等、慎重な判断を必要とする状況が続いております。

なお、当社取扱製品は米国の追加関税の影響を受けておりません。このような中、当社グループの主要販売先である生産設備業界が好調を維持したものの、OA機器業界は製品需要が落ち込んだことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,255,543千円（前年同期比38,665千円減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は164,479千円（前年同期比77,031千円減）、経常利益は176,609千円（前年同期比118,780千円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128,378千円（前年同期比98,642千円減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ69,979千円減少の5,218,850千円となりました。流動資産は現金及び預金が109,614千円減少、受取手形及び売掛金が92,038千円減少、電子記録債権が32,709千円増加したこと等により2,894,999千円となりました。固定資産は有形固定資産が33,097千円減少し、投資その他の資産が109,946千円増加したこと等により2,323,851千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ134,863千円減少の1,965,108千円となりました。流動負債は未払法人税等が55,524千円減少し、1年内返済予定の長期借入金が34,320千円増加したこと等により1,083,543千円となりました。固定負債は長期借入金が108,777千円減少したこと等により881,564千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ64,884千円増加の3,253,742千円となりました。株主資本合計は利益剰余金が72,632千円増加したこと等により3,196,217千円となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は176,202千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	6,400,000
計	6,400,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数（株） （平成30年6月30日）	提出日現在発行数（株） （平成30年8月9日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,323,000	2,323,000	東京証券取引所JASDAQ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	2,323,000	2,323,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 （千株）	発行済株式 総数残高 （千株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金 増減額 （千円）	資本準備金 残高 （千円）
平成30年4月1日～ 平成30年6月30日	—	2,323	—	468,134	—	388,134

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成30年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	
議決権制限株式（その他）	—	—	
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 200	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,322,100	23,221	同上
単元未満株式	普通株式 700	—	同上
発行済株式総数	2,323,000	—	—
総株主の議決権	—	23,221	—

（注）「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株（議決権1個）含まれております。

②【自己株式等】

平成30年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
（自己保有株式） 株式会社ニックス	神奈川県横浜市西区 みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 8F	200	—	200	0.00
計	—	200	—	200	0.00

（注）株主名簿上は、当社名義株式が243株あり、当該株式は「①発行済株式」の「完全議決権株式（自己株式等）」欄の普通株式に200株、「単元未満株式」欄に43株含めております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、興亜監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,430,238	1,320,623
受取手形及び売掛金	836,928	744,890
電子記録債権	240,557	273,267
商品及び製品	242,331	253,344
仕掛品	38,627	38,763
原材料及び貯蔵品	40,723	44,501
前払費用	17,421	21,554
繰延税金資産	25,862	20,631
その他	164,823	177,422
流動資産合計	3,037,514	2,894,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,717,314	1,734,305
減価償却累計額	△1,096,437	△1,133,263
建物及び構築物（純額）	620,877	601,042
その他	2,480,123	2,550,193
減価償却累計額	△2,348,372	△2,391,546
その他（純額）	131,751	158,646
土地	1,234,103	1,234,103
建設仮勘定	42,082	1,924
有形固定資産合計	2,028,813	1,995,716
無形固定資産		
投資その他の資産	15,740	11,427
投資有価証券	20,109	130,535
その他	189,101	186,172
貸倒引当金	△2,450	—
投資その他の資産合計	206,761	316,707
固定資産合計	2,251,315	2,323,851
資産合計	5,288,829	5,218,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	660,669	635,997
短期借入金	—	20,963
1年内返済予定の長期借入金	217,356	251,676
未払金	52,922	34,831
未払法人税等	65,321	9,796
その他	110,208	130,278
流動負債合計	1,106,477	1,083,543
固定負債		
長期借入金	334,778	226,001
繰延税金負債	293,912	286,839
退職給付に係る負債	202,962	210,692
役員退職慰労引当金	106,385	110,760
その他	55,456	47,271
固定負債合計	993,494	881,564
負債合計	2,099,971	1,965,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	468,134	468,134
資本剰余金	388,134	388,134
利益剰余金	2,267,509	2,340,141
自己株式	△193	△194
株主資本合計	3,123,586	3,196,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,856	4,060
為替換算調整勘定	61,415	53,465
その他の包括利益累計額合計	65,272	57,525
純資産合計	3,188,858	3,253,742
負債純資産合計	5,288,829	5,218,850

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	3,294,208	3,255,543
売上原価	1,765,356	1,773,650
売上総利益	1,528,851	1,481,893
販売費及び一般管理費	1,287,340	1,317,413
営業利益	241,511	164,479
営業外収益		
受取利息	210	220
受取配当金	675	726
不動産賃貸料	9,107	9,924
為替差益	50,077	497
その他	6,085	8,711
営業外収益合計	66,157	20,079
営業外費用		
支払利息	2,188	1,385
債権売却損	2,436	1,459
不動産賃貸費用	4,348	4,214
その他	3,304	890
営業外費用合計	12,277	7,949
経常利益	295,390	176,609
特別利益		
固定資産売却益	1,102	—
特別利益合計	1,102	—
税金等調整前四半期純利益	296,492	176,609
法人税、住民税及び事業税	73,641	51,471
法人税等調整額	△4,170	△3,240
法人税等合計	69,471	48,230
四半期純利益	227,020	128,378
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,020	128,378

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	227,020	128,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,343	203
為替換算調整勘定	28,158	△6,898
持分法適用会社に対する持分相当額	4,635	△1,051
その他の包括利益合計	36,137	△7,746
四半期包括利益	263,158	120,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,158	120,632

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
減価償却費	102,542千円	95,714千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月22日 定時株主総会	普通株式	32,519	14	平成28年9月30日	平成28年12月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年12月23日 定時株主総会	普通株式	55,746	24	平成29年9月30日	平成29年12月25日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、上場10周年記念配当2円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは工業用プラスチック部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	97円73銭	55円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	227,020	128,378
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	227,020	128,378
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,322	2,322

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年8月9日

株式会社ニックス
取締役会 御中

興亜監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 武田 茂 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松村 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニックスの平成29年10月1日から平成30年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニックス及び連結子会社の平成30年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。